

ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画等策定基礎調査報告

グループインタビュー 調査報告書

令和2年 1月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

目次

<u>I 調査概要</u>	1
<u>II 調査結果概要</u>	2
<u>1. グループインタビュー 結果概要</u>	2
<u>(1) 市内に居住する高校生</u>	2
<u>(2) 市内に居住する新成人</u>	3
<u>(3) 25歳前後の市内居住者</u>	4
<u>(4) 市内に就業する市外出身者</u>	5
<u>(5) 都内に就業する25歳前後のひたちなか市出身者（市外居住者）</u>	6
<u>III 調査結果</u>	7
<u>1. グループインタビュー調査結果</u>	7
<u>(1) 市内に居住する高校性</u>	7
<u>(2) 市内に居住する新成人</u>	9
<u>(3) 25歳前後の市内居住者</u>	11
<u>(4) 市内に就業する市外出身者</u>	13
<u>(5) 都内に就業する25歳程度のひたちなか市出身者</u>	15

I 調査概要

1. 調査の目的と趣旨

本調査は、ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画の策定や、今後の施策推進の基礎資料とすることを目的として、高校生や大学生、転出者等様々なセグメントに対し、アンケート調査では把握できない部分（選択の要因やその背景等）を吸い上げ、潜在的なニーズを探るため、グループインタビューを実施した。

2. 実施概要

インタビューアーによる対象者へのグループインタビューを実施した。

【インタビューアー】

つなたく代表 なかにしゆり

(共創ファシリテーター/NPO 法人日本ファシリテーション協会理事)

【実施概要】

実施日	調査対象	参加人数	開催場所
令和元年 9月14日 (土)	市内に居住する高校生 (ひたちなか高校生会)	12人	ふぁみりこらぼ 会議室 (ひたちなか市石川町 11-1)
令和元年 11月16日 (土)	市内に居住する新成人 (成人式実行委員会)	4人	
令和元年 11月30日 (土)	25歳前後の市内居住者	9人	ひたちなか市役所 会議室 (ひたちなか市東石川 2丁目 10-1)
令和元年 12月23日 (月)	市内に就業する市外出身者 (ひたちなか市からの 転出者等含む)	4人	市毛コミュニティセンター 会議室 (ひたちなか市大字市毛 980)
令和2年 1月19日 (日)	都内に就業する25歳前後の ひたちなか市出身者	5人	Creative Lounge MOV ミーティングルーム (東京都渋谷区渋谷 2丁目 21-1 ヒカリエ 8F)

II 調査結果概要

1. グループインタビュー 結果概要

グループインタビューの調査概要として、インタビューアーを務めた「つなたく代表 なかにしゆり氏」による、講師の視点による各対象者の意見などを結果概要として以下に記載する。

(1) 市内に居住する高校生

一番多く聞かれたのは「子育てしやすい環境」であること。高校生はインタビュー層の中では一番幼少期に近く、自分自身が幼かった頃の良い経験を覚えているからかもしれない。「子育てしやすい環境」の中でも、「自然が豊か」であること、そして「人が優しい」ことを、特に、語っていた。ひたちなか市には、近年、なくなってきていると言われている「ご近所付き合い」の良さが、しっかりと定着しているということが伝わってくる。

ここからは「子どもにとって豊かな自然は宝である」「ご近所の商店主やおじいさん、おばあさんが声をかけてくれるまちは、子育て環境に恵まれている」ということが、無意識の中で定着しているということがわかる。

一方で、「交通の便が悪い」という意見が、とても多く出ていた。

高校生の多くは車もバイクも運転しないため、公共交通機関に頼る必要がある。このため、どうしても「交通の便」に関心が向くのであろう。また「交通の便」という観点からは、高齢者にとっても優しくないと考えていることがわかる。前述の通り、ご近所の高齢者との交流を大切にしていることもあり、高齢者の視点で物事を見ることができているのであろう。

全体的には「住みやすい」「生活には特に不便がない」という意識が高いが、定住するかというと、「就職先がない」「他の地域も見てみたい」等、必ずしも定住を考えているわけではないことも同える。その一方で、「ひたちなか市で子育てしたい」という希望は、かなりあるようだ。

なお、高校生のヒアリングでは、女子生徒については積極的に発言する傾向があったが、男子生徒はあまり話を引き出すことができなかった。高校生の場合、女子生徒の前では男子生徒とは格好をつけるため敢えてマイナスのことを言ってみたり、あるいは、あまり関心がないような態度を取ってしまったりするのではないかと感じた。高校生のヒアリングの際には、男女別に行った方が効果的ではないかと考える。

また、今回のヒアリングは自主的な活動に参加できている者ばかりであったため、自主的な活動には参加できていない、いわゆる一般的な高校生の意見とは言い難いのではないかと感じた。無作為抽出等で参加者を選出することができると、より効果的なヒアリングができるのではないだろうか。加えて、地域性も考慮に入れるとより望ましいのではないかと考える。

(2) 市内に居住する新成人

大学生たちにとって、ひたちなか市は「生活するのに不便がない」「都会過ぎず、田舎過ぎずがちょうど良い」というのが、一番の印象であった。ここは高校生のヒアリングとも共通しているところである。また良くない点として、高校生同様、「交通の利便性」が悪い点を指摘する者も多かった。大学生の段階では、まだまだ公共交通機関の利用が多いのだと推測される。

高校生と大きく違うのは、「遊ぶ場所がない」というところの指摘があったこと。この年代になると、遊びのニーズが高校生とは大きく変わってくるのがわかる。その一方で「自然」であったり「地域付き合い」についての発言はほとんどなかった。どちらかというところ「地域のつながり」よりも「友人同士のつながり」を求めているのではないかと推測する。また、「自然」というよりは、人工的な「遊び場」を求めていることがわかる。

「お金をかけずに、近場で遊びたい」というニーズが見え隠れしているように感じ取れた。その意味では、若者が参加できるような「イベント」を仕掛けていくことも、若者にひたちなか市の魅力を感じてもらうためには、1つの手段となると感じた。

また若者にひたちなか市に関心を持ってもらうには、「イベントに主体的に関わってもらうこと」と答えている。もしかしたら若者たちが主体となって、「寂しい」と言われている駅前西口周辺で、定期的にイベントを開催してもらうということが、2つの課題を一度に解決するきっかけとなるのではないだろうか。

さて「定住したいか」という問いに対しては、やはり「働き先」の話と「子育て環境」の話が出てきた。この年代では自分のなりたい職業がほぼ見えてきていることもあり、「なりたい職種が地元になく」ことから、定住は厳しいと考える場合もあるようだ。「子育て環境」については、基本的には「良い」という印象を持っているが、より一層の行政サービスを求めているようであった。いずれにしても言えるのは、自宅でもできるような「新しい働き方」であったり、「通勤しやすい環境づくり」があれば、「定住」という視点も生まれてくるのではないかと感じた。

他にも特徴的だったのは、「福祉」の充実を挙げたところである。「高齢者が健康になる」ための施策があることで、一旦、市外に転出した者であっても、故郷に戻ってくるということが起こるのではないかと感じる。

なお、今回のヒアリングは、高校を卒業しても市内に留まっている者ばかりであった。大学や専門学校のために市外に転出してしまった同世代の者についてもヒアリングすることで、幅広い意見を集めることができるのではないかと考える。

(3) 25歳前後の市内居住者

この年代になると、就職している者がほとんどで、より生活に密着した意見が多く出された。さらに今回のヒアリングは、就職して尚且つひたちなか市に在住の者がほとんどであることから、市に好意的なコメントが多かった。

市外に就職している者の「外に出てわかる良さがあった。ひたちなか市は、なんでも揃っていて、生活に便利」というコメントからも、「生活しやすいひたちなか市」というイメージを概ね全員が持っていることがうかがわれる。

また彼らが、なぜひたちなか市に住み続けているかという理由の背景には、「実家があるから」ということをあげている。その背景には、親世代も「ひたちなか市は住みやすい」と思っているのではないかと推察される。

一方で、子どもの頃に引っ越してきたという者からは「田舎だ」というコメントが出された。しかし話を続けていくと、「とはいえ住みやすい」というコメントも出されたのは興味深い。

さて、「ひたちなか市に住み続けられるためには」という問いに対しては、大きく「就職先」「新婚家庭への補助」「子育て環境」「福祉の充実」「交通の充実」が挙げられる。

「就職先」については、結婚に伴ってひたちなか市に引っ越してきた配偶者が、就職先を見つけるのに苦心したという。前回までの若者ヒアリングの結果と同様、「就職先」がないことは定住促進の妨げになっているようだ。

「新婚家庭への補助」については、どうしても女性は結婚のタイミングで、配偶者の住むまちに引っ越す可能性が高いと考えていることから、「配偶者を説得するための理由」としてのインセンティブを求めている。

「子育て環境」については、行政サービスだけではなく、民間施設においても子ども同伴で出向ける場所が充実していると良いと考えている。

「福祉の充実」については、たまたま福祉に詳しい参加者がいたことから出た意見ではあるが、他都市に比べて医療助成が少ないということだった。

「交通の充実」については、自分たちというよりは、むしろ、高齢者の足を心配している。自分たちの親の将来についても、心配をしているのではないだろうか。「車がないと生活できない」ということが、少し住みづらさを感じさせているようである。

以上、傾向としては、これまでの高校生ヒアリングとさほど変わらないが、「ちょうどいい田舎でゆったり、のんびりできる」「生活に便利」というのがキーワードとなっている。

今後の可能性として感じたのは「新しい働き方」「新しい移動のあり方」だ。

(4) 市内に就業する市外出身者

今回のヒアリングは就職や家の購入等をきっかけに、市外（ひたちなか市周辺）に引っ越しをされた方々だった。県外から就職で転居された方々にとっては、「ひたちなか市」がどこかもわからない状態だったとのこと。「水戸市」の隣と分かって、だいたいこの辺かと思ったそうで、全国から見ると、なかなか認知度は高いとは言えないことがうかがえる。

面白いと思ったのは、住む場所を決める際に「駅前」の賑やかさを見たという意見だ。ずっと若者のヒアリングをしていると、「駅前が寂しい」という意見が必ず出ていたが、県外から来る者にとっても、ここはポイントとなるエリアであると感じた。

今回の特徴として、男性ばかりであったということが挙げられる。結婚している場合は、配偶者の意見も居を構えるための大きなファクターとなるようで、「子育て」「教育」「防災」がキーワードとなっていた。また、「配偶者の働き先」もポイントとなっていた。しかし、前述の3つのキーワードについての、ひたちなか市の現状については、ちゃんと認知されているわけではなさそうなことも伺える。この年代は、インターネットで情報を収集するのが当たり前の世代である。市の施策、生活する上での強み等について、もっとインターネットを使って広報する必要があるのかもしれない。

さて一方で、ひたちなか市の強みともいえる全国的に有名なイベントや、海浜公園の花などについては、かなりの認知度があるという意識は全員にあった。課題としては、その有名なものとひたちなか市との紐付けがされていないということにあるようだ。確かに、市の名前がついていない祭事等については、県外から就職でやってくる方々にとっては、それがひたちなか市と紐づいて理解できない。ここも広報のあり方を見直すことで、既存の強みを活かすことができそうである。

また、「定住」を最初から求めるのではなく、「関係人口」を増やすことで、将来的に「住みたい」と思ってもらえることも有効ではないかという意見も出てきた。

ひたちなか市の魅力としてあげられる「自然」「温かみのある風景」「海」などを有効活用して、「週末はスローライフを楽しむために、ひたちなか市へ」という人を増やしていくことも、有効だと感じた。

そこに加えて、カフェやレストラン等「こだわりのある店」が増えていくための施策などもあると、「週末はひたちなか市のお店へいこう」という者も増えてくるのではないかと感じた。駅前周辺におしゃれで若者たちが好きそうな店が出店しやすい環境づくりがあると、「住む場所を探しにきた遠方の者」にも、「気軽な遊び場所が欲しい若者」にもアプローチできるのではないかと思う。

(5) 都内に就業する 25 歳前後のひたちなか市出身者（市外居住者）

今回のヒアリング対象者は、進学を機に首都圏へ引っ越した方々だった。皆、就職先を地元ではなく首都圏で見つけている。なぜ地元ではないのか訊ねると、「入りたいと思える様な事業をしている企業がなかった」という点が大きかった。また「選択肢が広がるから」という言葉もあった。

「すごいと思える様な事業をしている会社があれば、別に地元でも構わなかった」という者もいたが、まずは「入りたいと思える魅力的な企業（職場）が見つけれない」ということである。一方でどんな事業をしている企業があるのか、情報がなかったということも大きいようである。つまり逆に言えば、就職を考える時期に、行政（地元）から情報提供があれば、地元で就職することもあり得るということを示しているのではないかと思う。

また、「将来は起業したい」「カフェを持ちたい」という希望を持つ者もいた。「カフェを作りたい」という者は、「古民家などを活用したカフェ」を地元で作りたいと言っていた。ずっと住んでいた地域の方が、マーケットがわかりやすいという理由を述べていた。

今後、地方にいても「起業」ができるという環境を、どんどん知らしめていくことが重要かもしれないと感じる。最近の「起業」は、社会課題を解決するための事業を創出するというのがトレンドである。そう考えると様々な課題が顕在化されている「地方」の方が新しい事業を起こすためのヒントが多いと言える。働き方が変わってくる中で、「地方から新しい事業を発信する」という魅力を、若者にアピールしていくことは、とても有効ではないかと感じた。

さて、自分たちの親の介護について訊ねてみると、男性の一人は「どうしても手が必要となる様なら地元に戻りたい」（Web系就職）と語った。女性二人は「兄が地元で就職したので」と答えた。また、皆、「ひたちなか市のことが好きだ」と答えてくれた。そして、「これからもなんらかの形でひたちなか市に貢献していけたら」と語った。

今後、進学を機にひたちなか市を離れていった若者たちが「ひたちなか市」に誇りを感じ、関係人口として関わってもらい、あるいは、Uターンしてもらいには、「起業（開業）しやすい環境づくり」や、「就職情報の提供」が重要となりそうだ。

アイデアとして「ひたちなか市」にしかない「面白い」と思わせる広報のあり方についての提案もあった。若者たちがよくみる、Instagram や YouTube を活用して、既存のものを活用した「面白い」を創出し、見せていくということが有効となりそうである。

最後になるが、このように若者を集めて「ひたちなか市」について語ってもらうという機会自体が、「ひたちなか市」のファンを作っていく大きなきっかけとなると感じた。

Ⅲ 調査結果

1. グループインタビュー調査結果

グループインタビューの調査結果として、各グループインタビューの回答内容より一部キーワードを抜粋して記載する。

(1) 市内に居住する高校性

ひたちなか市のイメージについて等
<p>○高校生にとって、住みやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none">・家の周りにドラッグストアとかカスミとか、色々あって便利で住みやすい・良く言えば静か、悪く言えば地味 等 <p>○交通の便が不便なまち</p> <ul style="list-style-type: none">・交通の便は不便 等 <p>○PR 出来るものがない</p> <ul style="list-style-type: none">・宇都宮だったら餃子とか、そういうふうにはパッと言えるものがあるけれど、ひたちなかだと、パッと言えるものがちょっとまだ少ない・海浜公園が強すぎる 等
ひたちなか市への愛着について等
<p>【好きな理由】</p> <p>○適度に都会で、適度に田舎なところ</p> <ul style="list-style-type: none">・ひたちなかは水戸とも電車一本、一駅で行けるし丁度良い近さ 等 <p>○地域の人が温かい、慣れ親しんだ土地だから</p> <ul style="list-style-type: none">・おはようございますって言うのちゃんと返してくれる・生まれ育った町だから愛着があるし、離れがたい・大きな犯罪とか事件もなくて、近所の人と普通に「こんにちは」とか「おはようございます」とか、そういう挨拶がちゃんとできるまちだから 等 <p>【嫌いな理由】</p> <p>○中途半端に感じる</p> <ul style="list-style-type: none">・田舎と都会の真ん中を行ってるっていうか、中途半端な感じ 等 <p>○田舎なところ</p> <ul style="list-style-type: none">・田舎じゃないですか、もうちょいお店が欲しい 等
ひたちなか市の現状、将来の定住意向について等
<p>○交通の便が悪い</p> <p>○まちが暗い、街灯が暗く不安を感じる</p> <ul style="list-style-type: none">・那珂湊地区は移動が大変・街灯も少ないし、電車の本数も少ないから帰る時間も遅くなってしまい怖い・夜の帰路が暗くて怖い。街灯やミラーを増やしてほしい 等 <p>○ひたちなかのような自然が豊かなところに住みたい</p> <ul style="list-style-type: none">・四季を感じられる場所に住みたい 等 <p>○将来住むかどうかは仕事次第</p> <ul style="list-style-type: none">・ひたちなか市には住みたいとは思ってるんですけど、現実的にちょっと難しいかもしれない・茨城県立医療大学の推薦と筑波大学しかなくて。でもどっちも厳しいなっていう感じがするので、大学は

県外行って、そうなると県外のほうに就職するのかなと思う 等

○東京には行きたくないと思っても、県内では選択肢が少なく将来を描けない

・茨城って全体的に将来に関して豊富じゃないなって思う。就職先もこれだっというのもないし、東京とか、東京に行きたくはないけど、東京みたいに会社ってたくさんないので、茨城県内でどういう将来を描いていこうってなると、パツて出てこない。そういう将来に関する支援とか、そういう就職先がもっと豊富にあつたらいいなと思う 等

○違うところに住みたい

・住み続けてたら親離れできない、結婚できないと思ってる
・住みたくない
・違う所にも住んでみたいなっていうのがある 等

その他、自身の望むライフスタイルについて等

○バリバリ働きたい。その場合は県外

・バリバリ働きたい。具体的に結婚とか子どもだとか、あんまり考えたことがない。バリバリ働きたいってなると、あまり茨城は合ってなくて、子どもを持つとなると、多分すごい恵まれてる環境ではあるんだと思う 等

○仕事も子育ても両立した生き方

・仕事もしたいけど、子育てもしたい 等

○メリハリのある生き方

・週5日を仕事に没頭して、残りの土日は遊びたい
・楽しくいきたい
・緑がいっぱいな場所でも過ごしたい 等

今後のひたちなか市について等

○より住民の声をきく

・十分魅力的なので、現状維持しつつ、住んでる人だとか来る人から出た改善案とか、「こうして欲しい」みたいな要望をちよつとずつ叶えていったら、もっと良いまちになる
・住民とかの声を聴きやすい環境を作って、その声をちよつとずつ実現していったらよい 等

○交通の利便性の向上、道路の整備の強化

・交通の便を良くする過程で木とか伐採とかしちゃうのは嫌
・道が整備されればよい 等

○PRの強化

・大きい魅力はあまりなく、小さい魅力はいっぱいあるからそれを伝えられるようになにかすればよい 等

まとめ

◆適度に田舎で適度に都会なところがひたちなか市の魅力と考えている。

◆一方で、普通の通学や土日の移動などで交通が不便、街灯が少ないなどに多く不満を感じている。

◆今後の定住について、直近では進学が大きな目標となっており、進学先或いは将来の仕事を考慮した進学先が、将来ひたちなかに住むかどうかに関係している。



(2) 市内に居住する新成人

<p>ひたちなか市のイメージについて等</p> <p>○イベントが多いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントが多く、地域の人たちとの交流機会がたくさんある ・観光スポットや多くのイベントがあること 等 <p>○自然豊かなまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や川、森など自然が豊かなイメージ 等
<p>ひたちなか市への愛着について等</p> <p>【好きな理由】</p> <p>○都会すぎず田舎すぎずなところが魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会すぎず田舎すぎないところ。何も見るところがないわけではなく、人が東京の渋谷のようにダーツとしているわけでもなく、平凡に過ごしやすい ・まちも海も綺麗 ・東京に遊びに行くときかかしているように感じるが、そういうのがあまりないと感じる ・住みづらいと思っただことがない。アクセスが良い。水郡線、常磐線、湊線、100 円のおおぞらバスもあるので、どちら方面に行くにも交通手段があり行きやすい。 ・ひたちなか市が都会になっていくのは嫌。それがひたちなか市の良いところだと思う 等
<p>ひたちなか市の現状について等</p> <p>○屋内で遊べる場所があるとよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海浜公園など屋外ではなく、屋内で天気問わず遊べるところがもう少しあれば違う 等
<p>その他、自身の望むライフスタイルについて等</p> <p>○平日は仕事、休日は息抜き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来保育士になりたい。仕事がある時は仕事をして、休日は息抜きができるように趣味の好きなことをしたり、買い物をしたり、友達に会ったり、今とあまり変わらない感じが良い 等 <p>○子育てと仕事の両立が出来る場所で暮らしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを育てながら暮らせるようなところが良いと思っている。私は将来大きな病院で仕事がしたいので、そうなるひたちなか市は難しくなると思っている。大きい病院が少ない。私になろうとしている職種が必要とされている病院が、ひたちなか総合病院ぐらいしかない。そうなる入るのが難しく、求人が来るのが水戸などの都会なので、そういうところに行くとなると、ここに住むのは難しい。そういうところが増えて、ここにいられたらいいと考えている。 <p>○子供が出来たら通勤時間等を減らし、子供との時間を増やしたい (ひたちなかに住んで水戸に通勤等はあまりしたくない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもができると、通勤などの移動時間を考えると、その間は子どもといられた方が良いと思うので、病院も保育園も近くて、環境が良いところとなると、市内にはいられないかと思う 等 <p>○職場が市内なら市内で暮らしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしがしたい。職場が市内なので、市内が良い。渋滞も嫌なので、ほどほどの場所で、きれいなアパートで暮らしたい 等
<p>今後のひたちなか市について等</p> <p>○ボランティア活動がきっかけでひたちなか市を好きになる</p> <p>○ボランティア等の情報が学生に届いていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をしたことで、ひたちなか市を好きになったきっかけは大きいと思う。行事に参加しているからこそひたちなか市の良いところをいっぱい見られている。友達は“そういうのがあるんだ。知らなかった”ということが多かったので、もっと大々的にイベントがあるということが伝わっていけば良いと思う 等

- ・市内の小学生、中学生、高校生みんなでこのような話し合いをすれば、もっと色々な良い意見が出るのではないかと思った。“もっとこうした方がいい”という点やひたちなか市の良いところについて考えて、もっと地元に関心を持って、ボランティアをしなくても、ひたちなか市に興味を持てるのではないか。

○仕事がなければ若い人は帰ってこない

- ・学生で県外に出ている人は、ひたちなか市内に仕事がないと帰ってこない。働ける魅力的な場所が増えると帰ってくるのでは。何もないから東京で働く人が多い気がする 等

○駅を拠点に遊べる施設など、にぎわいがあるとよい

- ・東京への交通の便も悪いわけではない。帰ってこようと思えば、1時過ぎにこちらに着く終電がある。勝田駅の周りは居酒屋しかない。駅が拠点となつてなにか遊べる施設があればよい
- ・勝田駅の周りは居酒屋しかない。駅周辺に若者が楽しめる場があると良いと思う。勝田駅に集合すると、バスを使って海浜公園へ行くか、水戸駅になってしまう。せつかく大きな駅があるので、勝田駅に拠点となつて楽しめる場所があれば良いと思う。
- ・そこに住んでいる人が行くような場所(スーパーやコンビニ)しかない。

まとめ

- ◆新成人にとっても適度に田舎で適度に都会なところがひたちなか市の魅力と考えており、住みやすいと感じている。
- ◆一方で、屋内で遊べる場所や、普段よく使用する勝田駅周辺地域への要望が多い。
- ◆市内への居住については、仕事が重要となる一方で、子供との時間をより確保できる場所への居住へのニーズもあると分かった。
- ◆学生時代のボランティア活動がきっかけとなり、ひたちなか市への愛着を感じるようになっていっている一方で、情報が十分に伝わっていない現状がある。



(3) 25歳前後の市内居住者

ひたちなか市のイメージについて等
<p>○都会でも田舎でもない。何事もちょうどよいまち</p> <ul style="list-style-type: none">・何事もちょうどいい。都会でも田舎でもない。そこまで便利でも不便でもない。何事も中間にいてちょうどいい・ちょうどいい感じの田舎感、都会すぎず田舎過ぎず。自然が多いことも魅力の一つ 等 <p>○住むのには困らないまち</p> <ul style="list-style-type: none">・住むには困らない。水戸市にも東京にも行きづらくはないので、程よいまち・ある程度のものは揃っている。交通の便や生活品の買い物で、これがないからひたちなか市を出なければいけないという理由はあまりない 等
ひたちなか市への愛着について等
<p>【好きな理由】</p> <p>○住みやすい</p> <ul style="list-style-type: none">・日立市に出て行くようになってから、ひたちなか市の方が良いと感じる部分は多々ある。住みやすさで言ったら絶対ひたちなか市・住みやすいというところに繋がってくる。別に東京などに行かなくても何でも揃うし、遠くに行かなくて済む。友達もけっこう市内にいる 等 <p>○家族がいるからだけが理由</p> <ul style="list-style-type: none">・家族がいるということしか出てこなかった。もしかしたら地元だから好きだと思い込んでいるのかも 等 <p>【その他】</p> <p>○考えたことがない</p> <ul style="list-style-type: none">・ずっとひたちなか市にいたので、特に市に対して考えたことがない <p>○田舎だと感じる</p> <ul style="list-style-type: none">・特別そんなに好きではない。我孫子からひたちなかに来て、ギャップがあり、田舎だと感じている。電車の本数が少ない。田んぼの用水路がむき出しになっている 等
ひたちなか市の現状、将来の定住意向について等
<p>○ちょうどよいまちなので住み続けたい</p> <ul style="list-style-type: none">・ひたちなか市にそのまま住みたいと思っている。一番はちょうどいいという理由 等 <p>○実家や職場があるから住み続ける</p> <ul style="list-style-type: none">・実家があるということもあるが、勤め先が水戸市なので、そのエリアから離れると生活していくために不便になってしまう。できれば、ひたちなか市かその付近にいたい。・実家もあるし、職場もあるし、友達もいるので。ずっとここにいるので、そういう意味で住みやすい・水戸市のように電車などがよく通っている、交通機関がよくあるところに住みたいという思いも・仕事もひたちなか市なので、一生住むだろうというボンヤリした将来が見えている。ただ、「一生ひたちなか市にいるのも…、他のところにも住んでみたいな」というものもある。ひたちなか市にこだわる理由は、家族以外にはない 等 <p>○結婚相手の勤め先次第</p> <ul style="list-style-type: none">・今後自分が結婚した時に、相手がどこに勤めているかによって住む場所を考えなければいけない 等 <p>○医療・福祉の支援が弱いので住み続けない</p> <ul style="list-style-type: none">・ひたちなか市の助成制度について、医療もそうだが、福祉も弱いというイメージがある、ひたちなか市は他から見ると劣る部分がある 等

その他、自身の望むライフスタイルについて等
<p>○夜まで友人等と活動したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市だと電車はあり、勝田まで戻ってきた時に、そこから先どうやって帰るか、というのがある。早い時間の電車を使って、バスがある時間に帰るか、遅くなってしまったら仕方がないのでタクシーを使う。友達と一緒に遅くまでいられない 等 <p>○ワークライフバランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業せず普通に働いて、早めに家に帰って、そこから趣味やジムに行くなどという流れが、世の中の的に来ているのかと思う 等
今後のひたちなか市について等
<p>○楽しいイベントを駅前などで多く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいことがあると良いのではないかと。イベントが少ない。直接的に“住みたい”に繋がるかは分からないが、ひたちなか市に興味を持つきっかけにはなるのではないかと ・イベントをやっているところが駅から近くないことが多い 等 <p>○現状の維持で満足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状が保たれていれば満足 等 <p>○子育て支援の充実、街灯の増加など子供の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後に市がどうなっていてほしいかを考えると、一番充実して欲しいのは子育て。街灯が少なく、駐車場までの道が真っ暗で、以前知らない人に声をかけられたことがある。自分たちの子育てだけでなく、子どもたちが育っていく環境がもっと安全になっていると良い <p>○雇用の選択肢が多いまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用がないと人が集まらなると感じるのと、企業がたくさんあるようなまちになっていったらいいのではないかと。働ける場所があるひたちなか市であるべきなのではないかと思った。公務員以外の民間の選択肢で、地元に戻りつつ働くという選択肢があまりない ・住む場所と働く場所が近い方が良いと思っている 等 <p>○「惜しい」ものが多いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか市は「惜しい」と思うものが多い。公共交通やファッションクルーズやショッピングモール 等
まとめ
<ul style="list-style-type: none"> ◆都会でも田舎でもない。何事もちょうどよいまちとして住みやすいと感じている。 ◆住むのには困らないまちという意見がある一方で、働く場や賑わいなどについては充実しているとは感じておらず、住み続ける理由は職場や家族がいるからのみと、ひたちなか市に関するプラス要因は少ない。 ◆医療・福祉の支援の充実や、街灯の設置など子供が安全に暮らせる環境への要望が挙がっている。 ◆ひたちなか市出身で25歳前後まで市内の居住を続けていると、これまでの環境があたり前であり、市への愛着や、改善点へのニーズは少なく、現状の維持を求める意見が挙がっている。



(4) 市内に就業する市外出身者

現在の居住地を選んだ理由について等
<p>【ひたちなか市】</p> <p>○日立に比べ利便性が高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同居するもう一人の職場がひたちなか市のため、日立市に通勤している 等 <p>【水戸市】</p> <p>○ひたちなか市は名称すら知らなかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか市は名称すら知らなかったので、ひたちなか市と水戸市を名称だけで比べたら、水戸市の方が駅が栄えていて生活するイメージが付いた。 等 <p>○水戸市の方が住宅、教育環境が充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転職でひたちなか市に来て2年位住んでいたが、結婚で新居を探すと水戸市の方が安く頑丈な賃貸物件があった ・子供の教育が水戸市の方が良い、家を構えるにあたって水戸市を選んだ 等
ひたちなか市のイメージ、現状について等
<p>○イメージがわからなかった、場所も分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所が分からなくて、どこですか？と聞いた。水戸市の隣と言われ分かった ・最初は全くイメージが湧かない <p>○交通の便が悪いイメージ、車がないといい場所が分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海浜公園は駅からバスで移動が必要など、バスを挟むとアクセスが悪いイメージが一気につく 等 ・車で行くにはお洒落な店や美味しいお店があるなど分かるが、地元の人以外はどこに何があるかわかりにくい。いい場所があっても人に伝わらない構造になっているのはもったいない 等 <p>○他の市の人々が来なくなるような「ひたちなか市のイメージ」がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロッキンと海浜公園のイメージ。他の市の人々が来なくなるような市のイメージがない ・有名なロッキンや海浜公園があるのに、どこにも「ひたちなか」の文字がない 等
今後の居住意向について等
<p>○教育面等子供の意向によって決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育面でまた水戸市で探す確率は高い。今後、中高一貫校が茨城に増えていくが、そこを考えた時に水戸市のレベルの高い方がいい、子供がおおきくなれば東京に行きやすいつくば市が便利と考えている <p>○水戸市には整備された自然、人も多く、駅前も栄えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市から引っ越すつもりはない。逆になぜひたちなか市に引っ越さないのかという話になる。水戸市の千波湖近くに住んでいて、水戸市は駅も近くゆっくりできて人も多いイメージ。勝田やひたちなか市は住むのではなく、行く場所で良いと思っている。ひたちなか市の駅前には家がいっぱいあるだけの感じなので、それなら水戸市でいいかなと思っている 等
今後のひたちなか市について等
<p>○駅前の開発を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周りは仕事終わりに飲む場所がメインで作られていると思う。もっとショッピングできる場所や飲食店などの開発を進めていくと、単身赴任や勤めている人がひたちなか市を選ぶ <p>○普段の生活から子育てのしやすさを感じるかが重要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーに定住してもらうには、家の購入にあたっては奥様の意見がかなり強いと思う。女性の子育てをしている方にとっては、買い物に行ったときの授乳室の有無など、普段の生活でいかに気持ちよく暮ら

せるかが重要になる。改善すると住みたいと思ってもらえる。引っ越し後色々調べたら水戸の方が充実していた。保育園も水戸の方が待機児童は少ない。教育も掘り下げていくと水戸の方が底力・実績がある等

○都会の劣化版ではなく、自然が楽しめる場所へ

・都会の劣化版ではなく、自然が楽しめる場所。水戸から土日は東京ではなくひたちなか市に来ようと思えるものを期待する。水戸に行く用事<勝田に行く用事になれば住むかも 等

まとめ

- ◆「ひたちなか」自体の知名度が低く、居住地の候補になっていない。
- ◆市外出身者にとって、「勝田駅」周辺が生活をイメージし、居住を判断するポイントとなっている。
- ◆水戸市の方が住宅、教育環境が充実していると認識されているため、結婚や子育てを機に転出している。
- ◆転入者の増加に向けた、日常生活における子育て環境の充実や、駅前の賑わいの創出、ひたちなか市自体の情報発信の強化が必要な要素に挙げられている。



(5) 都内に就業する25歳程度のひたちなか市出身者

首都圏への進学，都内への就職について等
<p>【首都圏への進学の理由】</p> <p>○茨城県内に学びたいことを学べる大学がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたいことを学べる大学が茨城県内になかった 等 <p>○都心の方が色々な人が集まる，選択肢が広がる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京である必要はなかったが，都心に行きたいという思いが強かった。色々な人が集まってくるという意味で，茨城も集まる場所は集まると思うが，比較すると都心には勝てないと思った。色々な人と触れ合えるという部分が大きい ・東京にある程度絞っていたが，選択肢が広がる。就業を考えても，人との出会いもそうだが，休日の過ごし方，店も多い 等 <p>【都内への就職の理由】</p> <p>○転職を前提としているため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年単位で転職することを前提に就職活動をしていた。そうすると，都心の方に就職しないとその後の選択肢が広がらない 等 <p>○茨城県の企業の情報を知らないから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活当時に全然選択肢に入ってこなかった。自分の求めている環境や，業務内容，働いている人といったところが魅力的な企業が茨城にないのではないかと考えていたので，選択肢に入ってこなかった 等 <p>○多くの人とコミュニケーションが出来る機会がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学から仲良くしている友人，以前からの友人も東京で働いている人が多いということが一つの大きなきっかけ。業界問わず，彼らとはたまに会って情報交換をして良い刺激をもらっているのので，そういうコミュニケーションが取れるというのは，東京にいる一つの理由だと思っている 等 <p>○保育士の条件が手厚い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士という職業上，待機児童や保育士不足の理由で，家賃手当が手厚く，今は全額負担して頂いている。金銭面でも会社からの補助が大きいので，東京での生活に困らない。保育士として働くのであれば，ひたちなか市は職場の選択肢が狭い 等
ひたちなか市のイメージについて等
<p>○住みやすいところではあるが，行く目的はない場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいところではあるが，あえて行く場所ではないかと思う。住んでいたら良い場所だと思うが，遊ぶ場所もなく，実家があるから帰っているだけ ・ロッキンジャパンに毎年行っている。よく会社の先輩方とゴルフに行っている。目的があり行く感じ。ひたちなか市だから行く，ということはありません 等 <p>○交通の便が悪く，車が必要になってしまう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便があまりよくない。車でしかあまり移動できない 等
ひたちなか市へUターンについて等
<p>○将来的には可能性はある，暮らしのコスパが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に実力がついた時は地元に戻ってもいいのかなということも少し考えている。フリーランスで都心の人たちと同じぐらい稼げるのであれば，暮らしていく上でのコストパフォーマンスは絶対に茨城県のほうが良い 等

○茨城に戻っても自分が成長できない

- ・今のところはただ茨城に戻っても自分が成長できるとは思わない。そういう意味で挑戦する環境は、東京には限らないが、都心にはある 等

今後のひたちなか市について等

○働く環境次第

- ・自分の仕事を活かせる環境があれば良いと思う。ベンチャーが水戸にできるなどと言われたら行ってみたい。そういう環境で働いてみたいと思う。住むのには、茨城に住んでいる友人に話を聞くと家賃が安い。個人的には働く環境が一番大きいと思う
- ・一番は仕事。働ける場所があるかないかは大きい 等

○ひたちなか市での子育ての将来像が見えない

- ・子育てしやすいことも重要。将来のことを考えると、子育ての支援金も自治体によって全然違う。東京はキッズスペースがある商業施設が多いが、茨城、ひたちなか市では見たことがない。自分にも子どもができれば、どういうふう子育てすればよいかの将来像が、今のひたちなか市では見えない 等

○起業等への支援、情報発信の強化

- ・あえて茨城でやるメリットがあるかというところがあるのかなと思う。起業して新しいのを始めていくとなると、東京のほうがやりやすいのかなと思っちゃって、選択肢に出てこない 等

○可能性を感じるなら住んでみたい、

- ・可能性があるとそれだけ住んでみたいと思える。働く上で広がらないと、つまらないと感じてしまう。働いて終わってしまうのではなく、ひたちなかに戻って働いたとしても、その後にチャンスがたくさん転がっているのであれば、それだけ魅力になる。進学に伴って上京した学生に、そういう就職の情報をばらまいていくということは大事 等

○情報発信の強化、市内企業の説明会を東京で開催

- ・自分の興味のある分野で、東京で説明会があれば「行こうかな」となる
- ・地元の人たちからも帰ってきて欲しいという意思を感じると、そういう選択肢が魅力的に見えてくるというのが、僕と一緒に上京した人たちの意見。自分から求めに行くのは大変だが、機会があるなら嬉しい
- ・ひたちなか市は情報力が欠けていると思う。友人伝いで「こういうものがあつたんだ」ということは聞かすが、そのぐらいしか情報源がない 等

まとめ

- ◆様々な成長の機会、今後の選択肢の広がりを求め都内で就職している。
- ◆将来的なひたちなか市への居住について、家賃の低さなど暮らしのコストパフォーマンスを理由に可能性があると回答する一方で、自分が成長出来ない、可能性を感じないという考え方もある。
- ◆今後のひたちなか市での取組として、子育て環境の充実や、起業等への支援、都内での就職説明会の開催など情報発信の強化を求める意見が挙がっていた。

